



Hikone Castle Town
彦根城を世界遺産に

私たちの彦根城 ポスター コンクール

彦根市民の方々にとって、彦根城は常に生活とともにある。
その一つが、毎年、青年会議所が主催する写生大会。自分の作品が入賞した。
そんな経験をお持ちの方々も、少なくはないだろう。
令和2年度には、彦根城世界遺産登録実現に向けてのポスターコンクールも開催された。
力作ぞろいである。

(最優秀賞品 6年 前川愛佳さん)



Hikone Castle Town
彦根城を世界遺産に

私たちの彦根城 子どもガイド

彦根城に近接する彦根市立城西小学校。

5年生になれば、彦根城のガイドに挑戦する。

自分たちが調べた、彦根城の歴史、見どころを、写真やイラストも用いて説明する。

6年生は、外国からの方々へのガイドにも挑戦する。

説明する小学生にも、聞きいる来訪者の方々にも、彦根城での貴重な時間である。

※現在は新型コロナウイルス感染防止のために休止中



Hikone Castle Town
彦根城を世界遺産に

私たちの彦根城
みんなで田植え

玄宮楽々園の中には、小さな田んぼがある。

農村の景色を再現し、藩主自らが田植え、稲刈りを行い、農民の苦勞を知り、五穀豊穡を願う、大切な行事の舞台であった。

明治以降、長らく荒れ果てていたが、2012年に復元整備が行われた。以降、市民の有志を募り、田植え、稲刈りが復活。市民みんなで、豊かな実りに感謝する。



※写真は彦根城博物館わくわく体験スクールの様子



Hikone Castle Town
彦根城を世界遺産に

私たちの彦根城 お茶の心で

江戸時代の武士たちにとって、茶道は、重要な教養であった。
中でも、井伊直弼公は茶道を極め、石州流の中に一派を立ち上げた。
その著書「茶湯一会集」の序文に記された「一期一会」。
現在も多くの場面で引用されるこの言葉は、茶湯を通じた直弼公の理想を伝える。
そして、今、世界遺産をめざす彦根のまちでは、「一期一会」の精神で世界の人々とつながり、
大切な時間を共有すべく、「茶の湯に関する条例」の制定に向け機運が高まっている。